

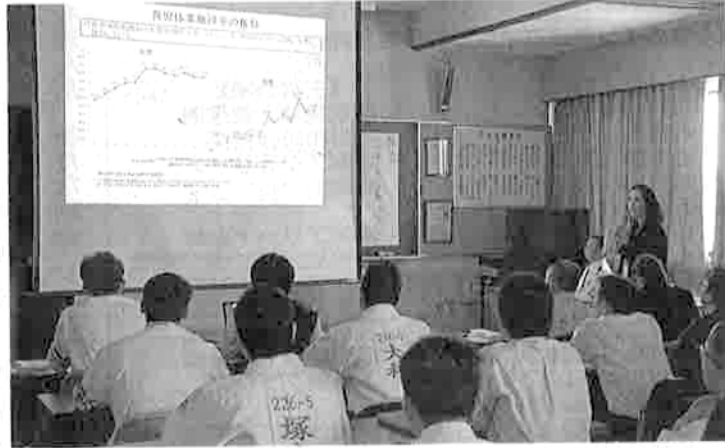
子育て 完璧目指さず

大山崎の特養施設長、体験交え講演

向日町署員 仕事との両立学ぶ

家庭と職場で活躍する女性の体験から学ぶ「仕事と育児の両立」をテーマとした向日町署員対象の講演会が8日、向日市上植野町の向日町署であった。講師の特別養護老人ホーム「洛和ウイラ大山崎」(大山崎町円明寺)の松村恵子施設長が、夫婦で子育てを行う際には「完璧を目指さず、夫の協力をうまく利用しよう」とアドバイスした。

府警は2020年までに女性警察官の割合を全体の10%に引き上げることを目標にしている。より男女が働きやすい空気を醸成するために講演会を企画。約60人が参加した。松村施設長は、先日第二子が誕生したイギ



男女の育児休業取得率について話す松村施設長(右奥)
＝向日市上植野町・向日町署

リス王室のウィリアム王子が約6週間の育児休暇を取るとされる話題に触れ、欧米と比べて日本では男性の育児休業取得が少ないと指摘した。仕事しながらの子育てについては、自身の経験を交えながら「完璧を目指さなくていい」「夫の助けを得やすいように、協力しやすいことを具体的に頼んでみて」などと述べた。(藤井契人)